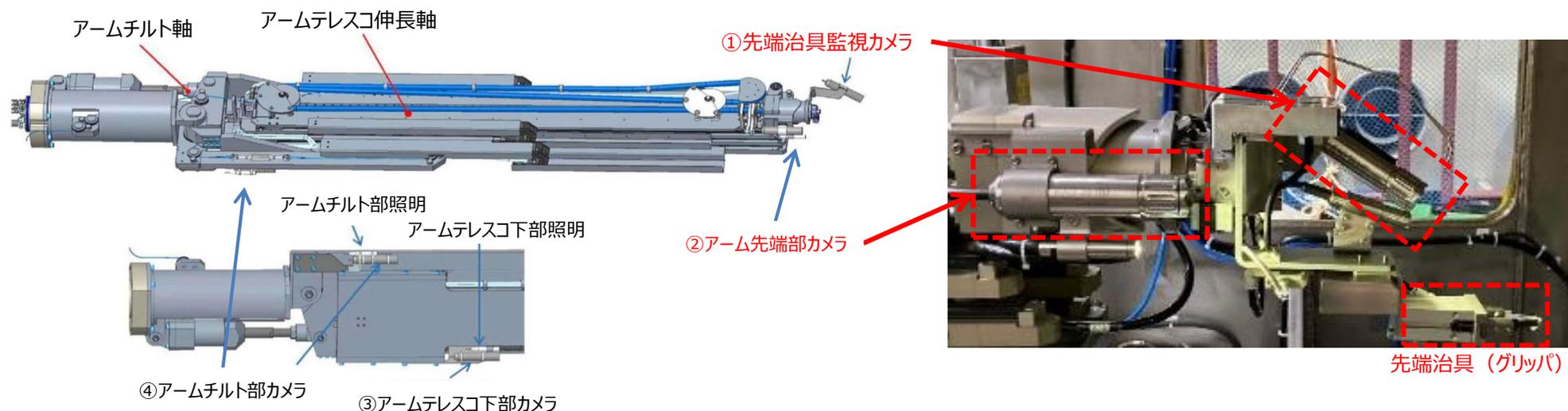


- 2号機燃料デブリの試験的取り出し作業について、把持作業の準備として、9月17日に原子炉格納容器内の状況確認やテレスコ式装置の動作確認等を行ったところ、何らかの原因により、装置先端のカメラ映像（①先端治具監視カメラ、②アーム先端部カメラ）が遠隔操作室内のモニターに適切に送られてこないことが確認されました。
- 原因調査として、カメラケーブル、各接続端子、映像変換器の外観および信号確認、抵抗の測定等を行うとともに、カメラについて、高い放射線の影響でカメラの動作に必要な電圧が不足して一時停止している可能性を推定し、原子炉格納容器内に比べて線量の低いエンクロージャ内でカメラ電源「入」「切」状態を維持し、カメラ状態の回復を試みました。（カメラの映像状態に変化なし）
- その後、10月4日にカメラ本体に一時的に通常時より高い電圧をかけ、カメラ状態に変化があるか映像確認・検証を行いました。（カメラの映像状態に変化なし）
- 現在、テレスコ式装置のカメラ交換を想定した作業の検証や準備、スケジュール精査等を進めており、作業の成立性を確認した後、実際にカメラ交換作業を行います。



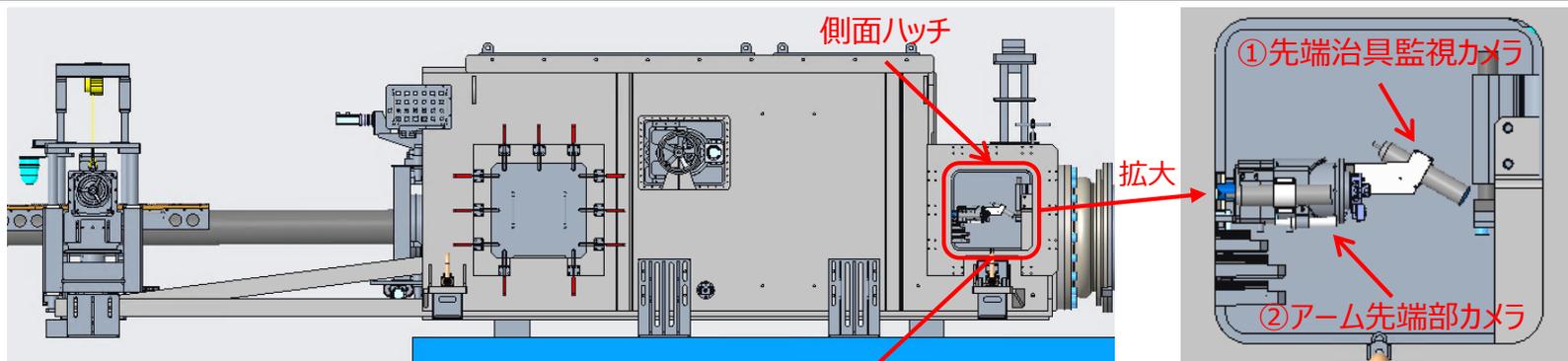
テレスコ式装置のカメラ設置状況

カメラ交換作業の検証

- カメラ交換作業にあたっては、作業性や作業員の被ばくの観点等から、現据付状態でエンクロージャ側面ハッチからカメラを交換することを検討しており、側面ハッチからのカメラ交換作業の成立性を確認するための検証を実施しています。

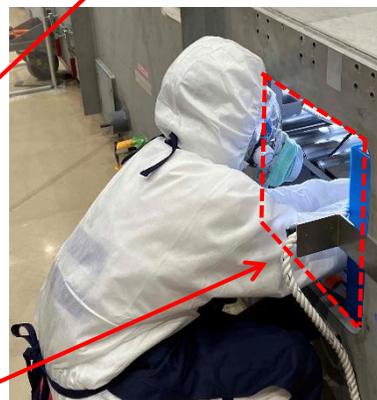
<主な検証内容>

- ・エンクロージャ模擬体を用いて、エンクロージャ内外でのカメラ交換作業を行う際のアクセス性や作業性に関する確認
- ・実作業現場と同様の手元装備（綿手袋+ゴム手袋3重）でのカメラ交換に必要な作業性の確認



エンクロージャ模擬体
(神戸工場)

側面ハッチ
(実機同寸)



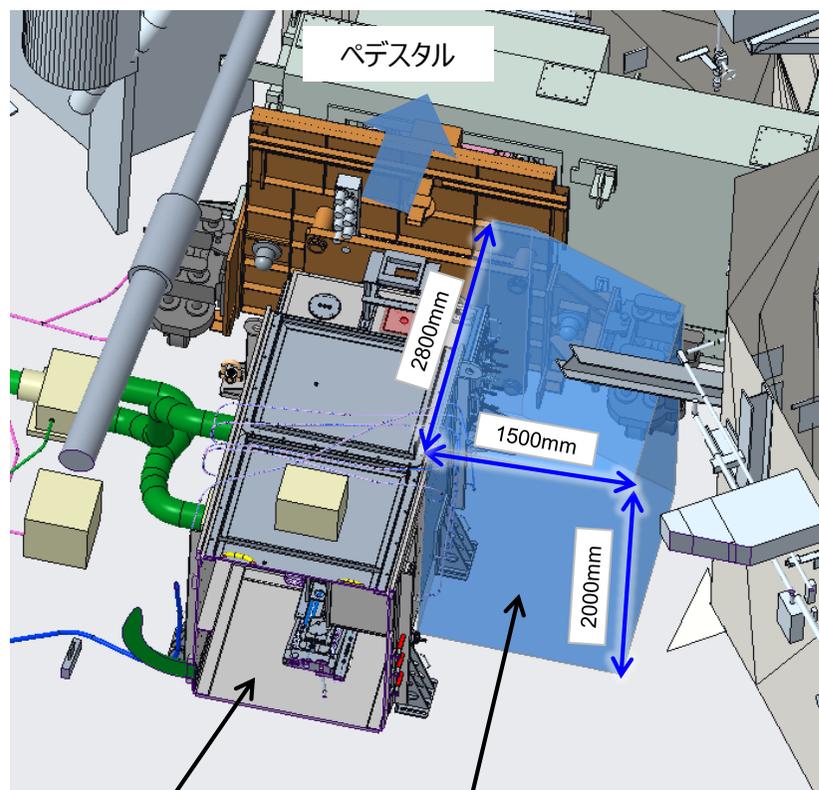
アクセス性の検証
(楢葉遠隔技術開発センター)



手元装備
(綿手袋+ゴム手袋3重)
※ケーブル接続作業時は革手袋を追加

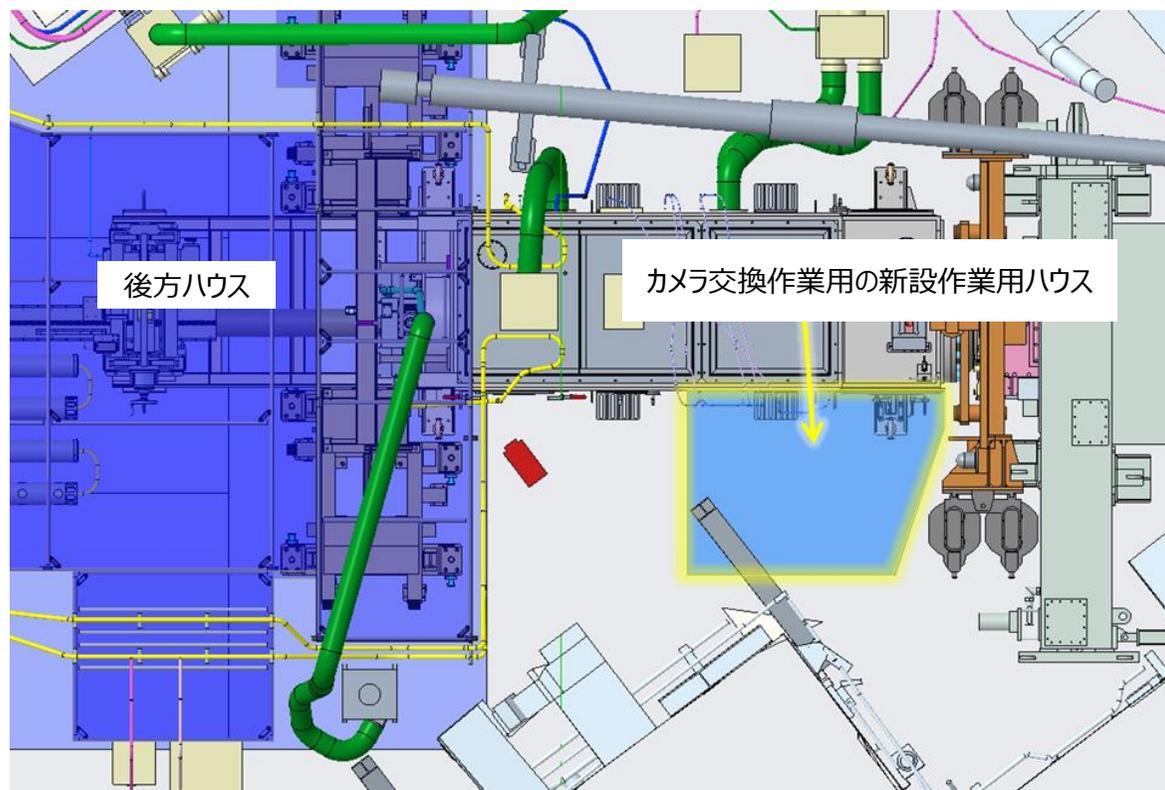
カメラ交換作業用ハウスの設置

- 汚染拡大防止を目的にカメラ交換作業用ハウスをエンクロージャ側面に設置することを検討しています。
- カメラ交換作業においては、作業員の作業性向上のため、ハウス内に照明や作業台を設置することを予定しています。



エンクロージャ

カメラ交換作業用の
新設作業用ハウス

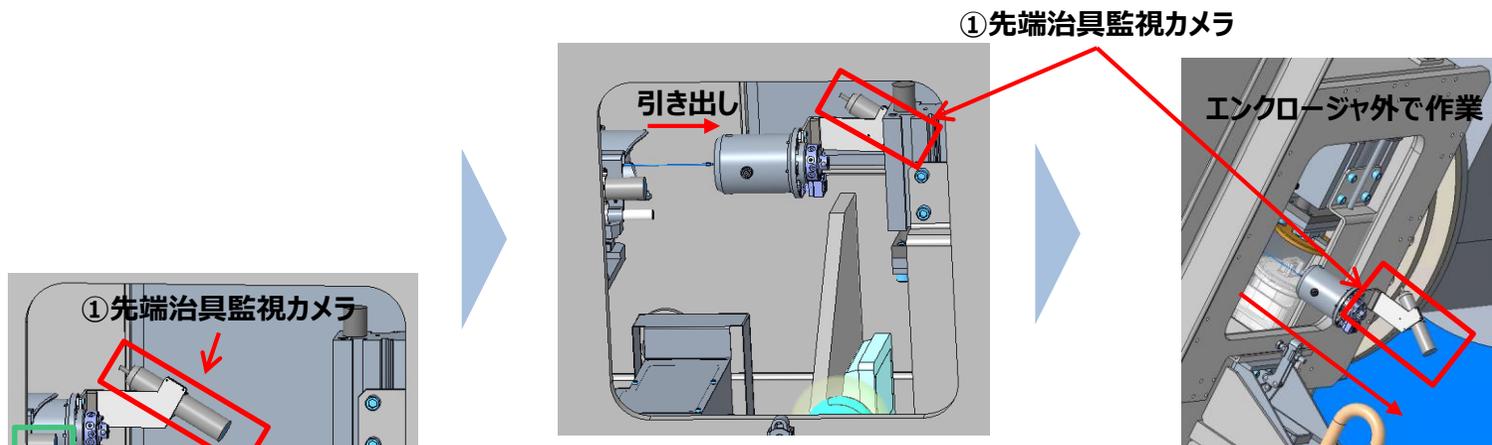


エンクロージャ側面における作業用ハウスの設置

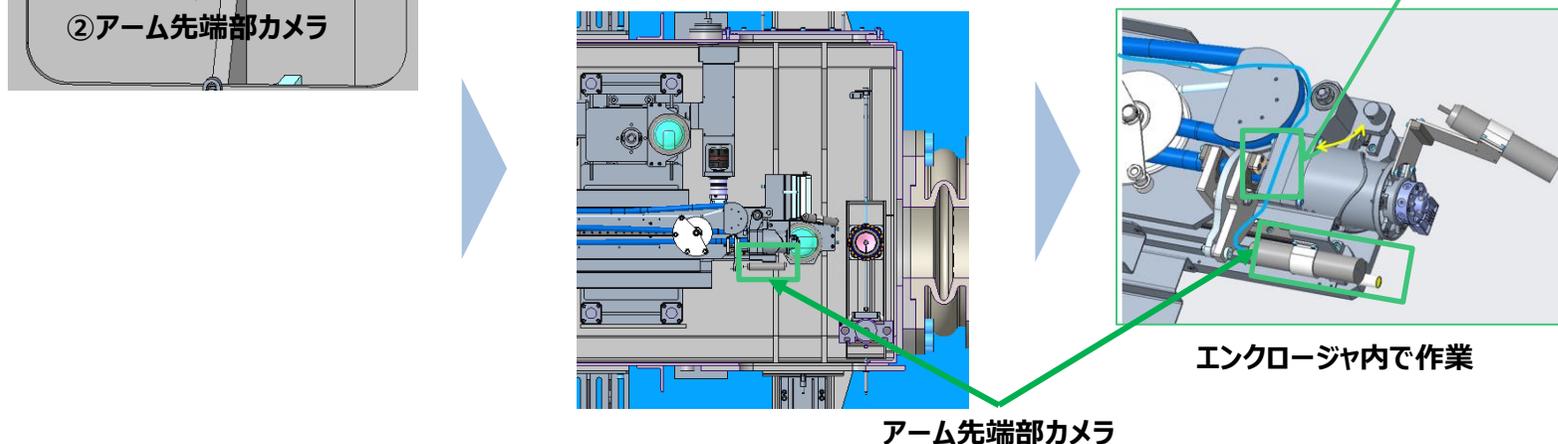
カメラ交換作業方法について

- カメラ交換作業にあたっては、「①先端治具監視カメラ」は、エンクロージャ外に引き出し可能なため、エンクロージャ外で作業を予定しており、「②アーム先端部カメラ」はアームに固定されていることから、エンクロージャ内での作業をそれぞれ検討しています。

【①先端治具監視カメラ】



【②アーム先端部カメラ】



ケーブル接続作業を実施後に、元の位置にカメラを固定